

電子機器の小型化に貢献する開発品のサンプル提供を開始

業界最小・最薄級の超小型アナログ出力 反射形フォトインタラプタ<GP2S800シリーズ>を開発

シャープセミコンダクターイノベーション株式会社（本社：奈良県天理市、代表取締役社長：藤野 宏晃、以下「当社」）は、アナログ出力タイプとして、業界最小・最薄級（※1）となる反射形フォトインタラプタ（※2）を開発し、サンプル提供を開始しました。当社はすでに透過形フォトインタラプタ（※3）でも業界最小級（※4）の<GP1S396シリーズ>を展開しており、反射・透過形の両方式において業界最小級の製品ラインアップを取り揃えることとなります。



左：反射形フォトインタラプタ<GP2S800シリーズ>、右：透過形フォトインタラプタ<GP1S396シリーズ>

フォトインタラプタは、モバイル機器や精密機器などあらゆる電子機器において、レンズの位置検出などに使用される光センサであり、小型化かつ高密度実装への対応が求められています。本開発品は外形寸法1.42×1.00×0.43 [H] mmと、非常にコンパクトなパッケージサイズであることから、センサ実装部の省スペース化を実現。電子機器のさらなる小型・薄型化に貢献します。また、サイズの小型化と優れた近接検知性能（最短検知可能距離0.20mm）を両立したことで、限られたスペースにおける搬送物の位置検出や、ダイヤルの回転検出などが可能になりました。

本開発品は2026年秋の量産化を目指し取り組んでいます。当社は今後も、より広いアプリケーションに向けた非接触センシング技術を開発し、新たな価値を創出してまいります。

■ 主な特長

1. アナログ出力タイプとして業界最小・最薄級のパッケージサイズ
2. 最短で0.20mmの近接検知が可能
3. 当社従来機種<GP2S60シリーズ>に比べ、光電流出力が4倍以上アップ、S/N比（※5）向上による設計の容易化やLED電流の削減が可能

※1 2026年5月7日現在、アナログ出力タイプの反射形フォトインタラプタ市場において。当社調べ。

※2 検出物体に赤外光を照射し、その反射光を受光することにより、物体の有無等の検知を行う、同一平面上に発光部と受光部を配置した受発光一体型の光センサ。

※3 発光部と受光部を対向して配置し、発光部からの赤外光を物体が遮ることを受光部で検知する受発光一体型の光センサ。

※4 2026年5月7日現在、アナログ出力タイプの透過形フォトインタラプタ市場において。当社調べ。

※5 検出時の信号（S）と非検出時のノイズ（N）の比率。

■ 主な仕様

Ta=25°C

品名	反射形フォトインタラプタ
形名	GP2S800HCP0F
外形寸法	1.42 × 1.00 × 0.43 [H] mm
順電圧	MAX. 1.4V
暗電流	MAX. 100nA
光電流 (d = 0 . 7 m m)	175 ~ 580μA (ランク分け対応可能)
漏れ電流	MAX. 800nA
動作温度	-25 ~ +85°C

■ お客様からのお問い合わせ

シャープセミコンダクターイノベーション株式会社
オプトデバイス担当窓口 e-mail : opto.devices@sharp.co.jp

■ 関連製品

- ・ 業界最小の小型フォトインタラプタを開発、発売 <https://corporate.jp.sharp/news/100924-a.html>
- ・ ウェアラブル機器向け超小型近接センサを量産化 <https://corporate.jp.sharp/news/210719-a.html>

■ シャープセミコンダクターイノベーション株式会社ウェブサイト <https://ssic.jp.sharp/>

<シャープについて>

シャープは、110年以上にわたり、エレクトロニクスを中心に、多くの世界初・業界初の革新的な製品や技術を開発してきました。経営信条「二意専心 誠意と創意」に基づき、コーポレートスローガン「ひとの願いの、半歩先。」を定め、人々の「暮らす」と「働く」のあらゆるシーンに寄り添う独創的なモノやサービスを通じ、「新しい文化」を創造する企業を目指しています。

-
- 【 ウェブサイト 】 <https://corporate.jp.sharp/> (画像ダウンロード <https://corporate.jp.sharp/press/>)
 - 【 本 社 】 〒541-8522 大阪府大阪市中央区久太郎町2丁目1番25号
 - 【 お問い合わせ先 】 お客様 : opto.devices@sharp.co.jp